

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 2月 1日

事業所名：児童デイサービスやっほ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・備品を整理し、室内の空間を有効に活用できるようにした。 ・マットを使って安全にケアできる空間を確保するようにしている。	はい 11 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 2 (回収13)	・利用児童の成長にあわせて、スペースを修正していく。
	2	職員の適切な配置	・配置基準人員に加えて、加算以外の保育士を配置した。リハビリスタッフを常勤で配置した。	はい 10 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 3 (回収13)	・職員の育休からの復帰と職員の育休取得など、職員の入れ替わりがあるため、サービスの質が変わらないように意識する。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・スロープの設置などバリアフリーの対応は出来ている。 ・ケアごとに場所を定めたり、おもちゃの配置を決めたりして、予測しやすいようにしている。	はい 11 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 2 (回収13)	・引き続き、同じ環境設定を繰り返すことで、理解を促していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日掃除・消毒を実施し清潔な空間の維持に努めている。 ・共有で使用する者は利用するごとに消毒を行っている。 ・マットで一人ひとりの空間を確保しているので個々の活動に合わせた空間が作れている。	はい 11 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 2 (回収13)	・現在の取り組みを継続していく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・配置基準人員に加えて、加算以外の保育士を配置した。リハビリスタッフを常勤で配置した。	/	・朝礼で前日の振り返り、反省点を確認して共有。 ・掲示板を利用して、個々が意見を出しやすいようにする。 ・キャリアパスに基づいた研修計画の作成予定。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・2023年6月の実地指導の結果、指摘された事項に関して修正を行った。(医師の指示書の徹底、欠席時対応加算の記録の徹底など)	/	・緊急時対応について、個々の症状にあわせて確認していく。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・人権研修(虐待) ・他施設への見学 ・防火・防災管理講習会	/	・他施設見学から当事業所にも有効な療育があれば取り入れる ・保育士協会が推奨しているキャリアアップ研修への参加を検討(対象入職3年までの職員)。
適切な支援の担	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・一人で計画は立てずに様々な職種からの意見を取り入れて計画を立てている。 ・個別支援計画についての家族面接の話は職員間で共有している。	はい 13 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 (回答13)	・現在の取り組みを継続していく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別対応を基本としつつ、他児に関心が向けられるように場面設定を行ったり、やりとりを仲介するような働きかけを行ったりしている。	/	・個別支援計画は立案時に会議で協議しているので、具体的な対応についても周知していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・誰にでも分かりやすく、達成可能な目標かつ具体的な支援方法を記載している。	はい 12 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 無回答 1 (回答13)	・個別支援計画は立案時に会議で協議している ので、具体的な対応についても周知していく。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・プログラム立案時に多職種からの意見を取り入れ、個々に合わせた製作や遊びの手順を組み立てている。 ・それぞれの子どものに合わせた活動設定を行っている。		・現在の取り組みを継続していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・保育、療育活動は保育士、児童指導員が企画立案、実行までの準備を担い、セラピストが活動に取り組みやすい姿勢と動作介助を提案、看護師が医療ケア、全身状態の把握をする、という役割分担を行っている。		・現在の取り組みを継続していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・長期休暇中に取り組むプログラムについて、休暇前のモニタリングで家族と確認を行った。		・時間に余裕がある学校休業期間には、普段より丁寧に活動を提供することができた。今後も継続していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・季節の制作、催しなどをこまめに提案し、実施している。 ・見る+聞く、見る+触るといった感覚刺激を組み合わせて製作技法を取り入れている。 ・週ごとで活動を立てる様にして、固定化しないように気を付けている。	はい 13 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 (回答13)	・引き続き子どもが楽しんで参加できるプログラムを実施していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・ホワイトボードに時間と当日のケア担当を視覚化することで、確実に役割分担をして安全に過ごせるようにしている。 ・朝礼で日々の流れを確認したあと、連絡ツールで情報共有している。		・朝礼でスケジュール確認→ホワイトボード→連絡ツールで共有を継続していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・送迎や退勤時間の違いがあるので、当日の振り返りはできていないため、翌朝のミーティングで気づいたことを報告し合うようにしている。		・朝礼時の情報共有は、当日の確認事項、議題があればその都度掲示板に上げていき、日々業務で留意するとともに、毎月ミーティングで検討していく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・必要に応じて数名のスタッフで支援の検証を行い実施している。 ・日々の記録は細かく記載できている。 ・インシデント報告があった時には、ミーティングを行い、情報を共有して注意を促している。		・インシデントがあったときに、情報共有だけでなく、原因分析と、多重確認の体制を検討していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年間の評価で計画の見直しができている。 ・一覧表にし、ボードに掲示することで面談の取りこぼしが無いようにしている。		・現在の取り組みを継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・サービス担当者会議が行われる事が少ない。		・担当者会議が開催される際には積極的に参加していく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・送迎の際に健康確認をしたり、連絡帳を確認するなど、学校との情報共有はできている。 ・利用者の食事介助の情報共有のため、学校訪問を行ったり、先生の来訪を受けたりした。		・現在の取り組みを継続しつつ、学校との情報共有のため、見学など積極的に連携を行っていく。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・当事業所で医療ケアが必要な児童について、主治医から指示書をもらうことを徹底した。 ・緊急時の連絡票を預かっている。 ・体調の急変などの場合、保護者に確認をとる。 ・月に1日は協力医療機関の往診を受けている。		・現在の取り組みを継続する。 ・緊急時対応マニュアルを充実させる。 ・往診を継続し、気になる事があれば相談する。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・就学前の情報交換や、教育機関からの見学なども受け入れている。 ・要望があれば、学校選択の際に関係機関との情報交換の場には参加している。		・現在の取り組みを継続する。 ・緊急時対応マニュアルを充実させる。 ・往診を継続し、気になる事があれば相談する。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・保護者と学校と相談支援員との間で行われている。		・必要に応じて、相談支援員さんとも連携を取って卒業までに進めていきたい。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・積極的に参加している ・センターとの連携も必要に応じて出来ている。		・現在の取り組みを継続していく。
	7 児童発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する場合があるか	・実施していない。	はい 3 どちらともいえない 0 いいえ 4 わからない 6 (回答13)	・長期休暇中など、地域の子どもが集まってくる時期に公園に出かけていくような活動を取り入れていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・実施していない。		・事業所への理解の為、家族参観などを検討していく。
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に書面と口頭で説明をしている。 ・支援の内容は日々伝えられる時には口頭でも伝えている。	はい 12 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 無回答 1 (回答13)	・今後も丁寧に説明をしていく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・書面と口頭で説明をおこなっている。	はい 13 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 (回答13)	・今後も丁寧に説明をしていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・相談がある際は専門分野に応じて職員が個別に相談に応じている。 ・支援プログラムの形態としては開催できていない。	はい 7 どちらともいえない 0 いいえ 1 わからない 5 (回答13)	・引き続き個別の相談には応じるなど、育児支援は行っていきたい。 ・事前に保護者と協議し、必要な場合は、ご自宅へ各スタッフが訪問して対応を行う。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・日頃から連絡帳などを活用し、情報を共有している。	はい 13 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 (回答13)	・現在の取り組みを継続していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談を受けた時にはすぐに対応をし、改善につながるように支援している。 ・解決に向けて、他の相談機関の利用等、保護者が求めている情報を提供することはできていない。	はい 11 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 1 (回答13)	・支援計画以外の面談機会がないので保護者の懇談などの機会を設けることも検討。 ・研修に参加する機会を設けて、職員の知識を深めていきたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・開催できていない。	はい 5 どちらともいえない 1 いいえ 3 わからない 4 (回答13)	・見学日を設けて、横の繋がりができるような方法を模索する。 ・オンライン等の方法も検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・体制整備はできている。 ・保護者へも書面と口頭で説明しており周知出来ている。	はい 7 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 5 (回答13)	・見学日を設けて、横の繋がりができるような方法を模索する。 ・オンライン等の方法も検討していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・個々に配慮している。	はい 13 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 (回答13)	・見学日を設けて、横の繋がりができるような方法を模索する。 ・オンライン等の方法も検討していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・今年度はインスタグラムを開始して、日々の療育の様子を公開している。(画像の公開など、個人情報の取り扱いについては、各家庭に同意をいただいた範囲で行った)	はい 11 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 1 (回答13)	・定期的に療育の様子を公開することができている。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報保護の同意書にて同意をいただいている。 ・新しく発信を始める時には改めて同意を頂くようにしている。	はい 13 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 (回答13)	・今後も丁寧な説明を続ける

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル策定はできている。 ・利用契約時には説明している。 ・避難訓練は秋と冬の2回実施した。 	はい 8 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 4 (回答13)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の避難先、連絡先は保護者にお知らせして、周知する。 ・契約時の説明を今後も丁寧に行っていきたい周知できるように努めていく。 ・年2回の避難訓練を継続する。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の確認を行った。 	はい 6 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 7 (回答13)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練開催時に利用予定の児童に協力依頼のお知らせをする。 ・定期開催する避難訓練の様子はSNSで発信する。 ・非常時、災害時物品の見直しを行っていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待関連の研修は社内研修を実施。 ・虐待マニュアルは作成済。今後運用していく予定。 		<ul style="list-style-type: none"> ・月のミーティングで、虐待(不適切な養育)についての知識を広め、理解を深める
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭でどのような時に行うか説明は保護や、職員には周知している。 ・記録に残すことも周知されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し周知していく。 ・今年度は行うことはなく過ぎて良かった。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー届出の有無にかかわらず、教材として食材を利用する場合は、保護者に確認している。 ・アルコール禁の利用者さんに対しては周知ができており適切な対応が出来ていた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も食材を教材にする時には保護者に確認する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、振り返りを行いインシデントの共有していくようにしている。 ・記録は誰でも閲覧できるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・同じようなインシデント重なった時には、原因の分析を確実に挙げる。インシデントの内容、時間帯、対応策等。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		はい 13 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 (回答13)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用時の様子をフィードバックしていく。
	2 事業所の支援に満足しているか		はい 13 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 (回答13)	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育活動が評価されたので、今後も続けていく。